

びわ湖フローティングスクールの教育方針および教育内容

学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的にかかわる力や人と豊かにかかわる力をはぐくむ。

領域1「びわ湖環境学習」

琵琶湖に学ぶ
琵琶湖をとおして学ぶ
・琵琶湖を大切に守っていく
態度や心を育てる。

領域2「ふれあい体験学習」

郷土・人とふれあう
共に学びあい行動する
・友情や郷土を愛する心をは
ぐくむ。

領域3「『湖の子』船内生活」

集団生活を送り、くらしをみ
つめる
・社会的な態度や豊かな心をは
ぐくむ。

「うみのこ」での食育実施

目標

**いのちの恵みを
知る**

/ 琵琶湖の生き物を学ぶ

**郷土の食文化を
知る**

/ 献立や食材を知る

友情をはぐくむ

/ 楽しい雰囲気の会食

**助け合いや協力の
態度をはぐくむ**

/ 準備、後片付け等の協働

学校における「食」に関する指導目標

食事の重要性

食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。

心身の健康

心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。

食品を選択する能力

正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。

感謝の心

食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。

社会性

食事のマナーや、食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

食文化

各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

内容

「『湖の子』船内生活」で

オリエンテーションでの指導・説明
食育タイム（1日目昼食前）での説明
食育タイム（1日目夕食前）での解説・指導
調理した人の紹介（食堂内に掲示）
郷土の食材・旬の食材の導入
・季節のおひたし、しじみのみそ汁
・味噌、大豆、牛肉、豚肉を県内産に
食事時間の弾力化
献立の紹介（食堂で・HPで）
食材の紹介（環境こだわり米、赤こんにやくなど）

「びわ湖環境学習」で

「食育『湖の子』守り隊」による「食」に関する指導
「プランクトンウォッチング」や「水生生物ウォッチング」、「レッツ魚釣り」に“いのち”や“食物連鎖”の視点を加える。
クイズやゲーム（「湖の子」すごろく・「湖の子」カルタ）に「食」に関するものを取り入れる。
琵琶湖の水と農業（環境こだわり米）
湖の幸など

期待する児童の姿

- ・「いただきます。」（感謝）
- ・「なるほどそうだったのか。」（納得・知識・理解）
- ・「楽しくいただいたね。」（実感）
- ・「おいしくいただいたよ。」（声・表情）
- ・「しっかりいただきました。」（食べ残し減少）
- ・「ごちそうさまでした。」（感謝）

学習活動の継続や発展

- ・びわ湖環境学習で...
- ・学校での給食後の学習で...
- ・食材を教材にして...